

会報

国鉄闘争全国運動

国鉄分割・民営化反対！ 1047名解雇撤回！

58号 2015年3月16日

国鉄分割・民営化に反対し 1047名解雇撤回闘争を支援する全国運動事務局
千葉市中央区要町2-8 DCC会館内
TEL 043-222-7207
nationwidemovement@yahoo.co.jp

残り1万筆を集め 解雇撤回判決を！



東京・すみだ産業会館には630人が結集し、解雇撤回判決と外注化粉碎の決意を固めた(2月15日)

国鉄分割・民営化による不当解雇から28年を迎え、札幌、郡山、新潟、東京、金沢、名古屋、大阪、岡山、福岡、沖縄の全国10力所で国鉄集会所が開催されました。国鉄闘争全国運動を労働運動復権運動として発展させ、全国に動労総連合を組織する決意を固めました。

東京 国鉄闘争で労働運動の復権を

国鉄闘争全国運動の呼びかけ「雇から28年―2.15労働者集会」で「国鉄分割・民営化で不当解雇」が2月15日、東京すみだ産業会館で630人の結集で開催された。

主催者を代表して全国運動の呼びかけ人の鈴木達夫弁護士が開会のあいさつ。続いて呼びかけ人の伊藤晃さんが「新自由主義と対決する運動をつくり出した。全国運動を労働者が広く自らの声を発する場」と訴えた。

動労千葉の田中康宏委員長が「労働組合の力を取り戻さなければならぬ。国鉄分割・民営化との闘いは新しい闘いをつくった。一つは外注化との闘い、二つは動労水戸の被曝労働拒否の闘い。そして1047名闘争を復権させた。労働組合を復権させる力はここにあり」と訴えた。

動労水戸の石井真一委員長は常磐線電田一原ノ町間のJRバス代行運転を激しく弾劾し、組織拡大報告と勝田車両センター脱線事故に対して「反合・運転保安闘争で外注化を粉碎する」と決意を語った。

現代の治安維持法と闘う会の

北海道 国鉄集会所に過去最高の結集

2月15日に開催された札幌の国鉄集会所は過去最高の結集でした。星野文昭さんの弟さんも参加し「文昭はやっていない。国の意思は死刑。無期で40年。取り戻したい」と訴えました。

主催団体の札幌連帯労組・堀井委員長と自交総連北海道地連・堀川委員長のあいさつに続き、国労秋田闘争団の小玉忠憲さんが「不当労働行為を問にする和解を拒否し、『玉砕』と言われたが今も闘っている。国鉄分割・民営化が一切を規定している。これをあいまいにしたら労働組合でなくなる」と訴えました。

さらに「国鉄とJRは別会社」が崩れ、最高裁は簡単に判決を書けない」と最高裁の現状を報告し、「JRの安全崩壊は外注化の結果。これこそ分割・民営化破産の現実」「動労水戸支援共闘結成、外注化阻止・被曝労働拒否へ、3.11総結集を」と提起しました。

さらに「国鉄とJRは別会社」が崩れ、最高裁は簡単に判決を書けない」と最高裁の現状を報告し、「JRの安全崩壊は外注化の結果。これこそ分割・民営化破産の現実」「動労水戸支援共闘結成、外注化阻止・被曝労働拒否へ、3.11総結集を」と提起しました。

解雇撤回・JR復帰を求める最高裁署名 8万9693筆(15年3月16日現在)

山本志都弁護士は、刑事司法改善との対決を訴えた。

最高裁闘争の現状について葉山岳夫弁護団長が報告し、署名の力が最高裁反動判決を阻んでいくことを明らかにした。全国運動東京東部の会が最高裁署名を9千筆を集めたことを報告した。

動労千葉争議団から中村仁さんが「30年の闘いを組織拡大に結びつけた」、国労闘争団の成田昭雄さんは「命のある限り闘い続ける」と熱く語った。

JRの現場から、動労千葉幕張支部、銚子支部、木更津支部の各支部長が、外注化粉碎、特急廃止のダイ改阻止の決意を述べた。

九州 国鉄と公務員決戦を一つで

国鉄闘争全国運動・九州の主催で2月15日、福岡市内で国鉄集会所が開催されました。

共同代表の竹内良夫さんが開会宣言を行い、全学連の学生が「戦争法案粉碎の闘いを巻き起こし、九州で全学連運動をつくると元氣なあいさつ。」

NAZEN福岡事務局が川内原発再稼働阻止の闘いと3.11郡山闘争への決起を呼びかけました。さらに元原発労働者の梅田隆祐さん、長崎の仲間が発言しました。婦人民主クラブ全国協・福岡支部結成集会のスピーチが行われ、星野文昭さんを取り戻す会・九州の訴えが行われました。

1047名解雇撤回闘争を闘う国労小倉地区闘争団の羽廣憲さんと鳥栖闘争団の石崎義徳さんが登壇しました。

羽廣さんは「1987年2.16解雇からすべてが始まった」と振り返り、解雇撤回10万筆署名の達成と3月ダイ改阻止、動労総連合建設を呼びかけました。

石崎さんは「国労は一切責任を取らずに和解した」と怒りを表明し、2.19国労原告団控訴審結闘争を闘う決意を表明しました。

自治体労働者は「安倍は施政方針演説で『戦後以来の大改革』を掲げ、国保の都道府県移行など『公務員改革』攻撃を強めている。国鉄と公務員決戦を一つにして闘うことがかぎ」と語り、ダイ改阻止の動労千葉スト

べた。動労連帯高崎の漆原芳郎副委員長は、外注先の労働者への組織拡大の展望もかけて春闘を闘うと発言した。

決意表明は動労総連合の青年、三教組、合同一般労組全国協議会、合同労組八王子ダイエー分会、全学連が行った。呼びかけ人の入江史郎さんが集会をまとめ、呼びかけ人の山本弘行さんの音頭で団結カンパニーで集会を終了した。

化に「北海道に動労総連合をつくらう」と基調提起しました。女性の仲間、道南ユニオンの仲間、NTTの仲間、NAZENさっぽろの仲間が発言して集会を終えました。

13.15動労水戸支援共闘会議結成を訴えました。

虹ヶ丘学園労働組合の野下英二委員長は「虹ヶ丘学園の責任は県にある」。国保の労働者は「国保の県移行は国鉄分割・民営化と同じ攻撃。労働者が団結すれば勝てる」と訴えました。

教育労働者は「学校統廃合による1万8千人の首切りを許さない」と発言し、合同労組レイバユニオン福岡の藤江書記長は15春闘勝利へ決意表明しました。

最後に事務局が「4.1清算事業団解雇25年！ JR博多駅行動」と3月ダイ改阻止・動労総連合建設の方針を提起し、自治体労働者の団結カンパニーで集会を終了しました。

郡山 〓 動労総連合と一緒に関闘する労組を

郡山で2月15日、110人の結集で国鉄集会をかちとりました。

国労郡山工場支部の橋本光一さんは「福島大学で反原発のピラマキへのデッチあげ不当逮捕を絶対に許さない。3・11反原発福島行動の爆発で反撃する」と宣言し、「動労総連合の青年と固く団結し、動労千葉・動労水戸と一体で闘う労働組合をつくろう」と訴えました。

東海 労働者派遣法改悪批判の講演

東海での2・15国鉄集会は、安倍政権の中東侵略戦争という情勢に立ち向かい、諸潮流が安倍翼賛勢力となる中で、国鉄闘争を軸に階級的労働運動の復権で戦争政治を打ち破る確信を深めた集会でした。

富山 〓 3セク会社に動労総連合を

2・15北陸集会が金沢で開催されました。3・14北陸新幹線開業に反撃し北陸3県から国鉄労働者を先頭に20人が結集しました。

新潟 〓 署名の力を背景にJR職場で

2月15日に行われた新潟集会は、国労とJR関連の労働者を先頭に45人が参加しました。司会の運輸労働者は「国鉄10万筆署名が地区で7500筆に迫っている。この力を背景にJR職場で外注化と闘い、動労千葉に続く」とあいさつ。

関西 港合同・関生など260人が結集

2月16日、大阪・港区民センターにおいて国鉄闘争全国運動・関西の主催で国鉄集会が開かれました。260人が結集し、画期的な成功を収めました。

岡山 自治体・教組を先頭に150人

岡山市内で2月15日、中四国国鉄闘争集会が行われ、150人が集まりました。自治労倉敷の主催者あいさつ、動労西日本・山田和広書記長の解雇権乱用訴訟弁護人の大石和昭さん、NAZEN山陰、徳島・星野さんを救う会からあいさつを受けた後、動労西日本の大江照己委員長が基調報告を行いました。

元教育労働者が「今がチャンス。現場で一から運動を」と発言。参加者全員が決意を新たにする集会となりました。

動労水戸支援共闘の結成に向けて青年労働者が「自分の職場で支援共闘をつくり、それと一体で原発労働者、除染労働者の中に労働組合をつくろう」とアピールしました。

青森・六ヶ所村の核燃サイクル施設や大間原発建設に反対して闘ってきた南部バス労組の仲間は「被曝労働拒否の闘いは労働組合の生命線」と発言しました。ふくしま合同労組、全金本山労組、自治体、教労、郵政の労働者、星野さんを取り戻す会、婦人民主クラブ全国協議会、全学連などが報告と決意を行いました。集会後は街頭デモを行いました。

定正社員化は警戒を強める内容でした。最後に、基調提起は、「改憲と対決する国鉄闘争」を提起。

「解雇の金銭解決」化、派遣期間の制限の撤廃、「新たな労働時間制度」の導入の問題点を暴露。とりわけ派遣労働者の「限定正社員」化は警戒を強める内容でした。

2・15北陸集会が金沢で開催されました。3・14北陸新幹線開業に反撃し北陸3県から国鉄労働者を先頭に20人が結集しました。司会は元動労西日本委員長の出口威さん。北陸ユニオン書記長の主催者あいさつの後、郵政の青年労働者が基調報告。「安倍の中東侵略戦争参戦を許すな。労働者の国際的団結で世界戦争への道を止めよう。動労千葉はストライキに決起する。北陸本線第3セクター化に反撃しよ。青年労働者を先頭に動労総連合に組織しよう」と力強く訴えました。

現場の闘いと裁判闘争で外注化を打ち破る展望を示し、このような労働組合こそ求められていると提起。動労総連合建設への展望も語りました。意見交換では新潟・星野文昭さんと連帯する会、「NAZENにいがた」から闘いの報告と要請があり、新潟市の再任用拒否解雇と闘う齋藤実さんの代理人である高島弁護士が「判決に

は破れたが人事評価制度を押しとどめる力として市当局を強制している」と報告しました。最後に国労と地域一般労組から、動労総連合を新潟に作り出す決意を述べて集会を終えました。

夫弁護士は、「JR方式と言われる労働者の団結破壊と分断攻撃が社会を覆っている。戦争と総非正規化攻撃を打ち破る環が国鉄闘争にある」と訴えました。動労千葉の田中康宏委員長は「階級的労働組合が地域を丸ごと組織する展望が生まれている。階級的労働組合の存在は社会を変革する道筋を示している」と提起しました。

2・15沖縄国鉄集会は25人の結集で開催されました。全国運動呼びかけ人の宮城盛光さんが司会を行いました。主催者あいさつを金城幸男さんが行いました。基調報告をJP労組の松本末土さんが力強く提起。その後、各職場の支援する会が報告を行いました。「動労千葉を支援する会・沖縄中部の会」の宮城盛光さんが、昨年9月の北中城議員選挙戦で宮城盛光さんが選挙戦を通して保育園の民営化反対と非正規職撤廃を訴え、新たな労働者を組織したことを報告しました。「動労千葉を支援する会・電通沖縄」は真喜志康彦さんが報告。「動労千葉を支援する基地

動労水戸支援共闘の結成に向けて青年労働者が「自分の職場で支援共闘をつくり、それと一体で原発労働者、除染労働者の中に労働組合をつくろう」とアピールしました。

青森・六ヶ所村の核燃サイクル施設や大間原発建設に反対して闘ってきた南部バス労組の仲間は「被曝労働拒否の闘いは労働組合の生命線」と発言しました。ふくしま合同労組、全金本山労組、自治体、教労、郵政の労働者、星野さんを取り戻す会、婦人民主クラブ全国協議会、全学連などが報告と決意を行いました。集会後は街頭デモを行いました。

定正社員化は警戒を強める内容でした。最後に、基調提起は、「改憲と対決する国鉄闘争」を提起。

「解雇の金銭解決」化、派遣期間の制限の撤廃、「新たな労働時間制度」の導入の問題点を暴露。とりわけ派遣労働者の「限定正社員」化は警戒を強める内容でした。

2・15北陸集会が金沢で開催されました。3・14北陸新幹線開業に反撃し北陸3県から国鉄労働者を先頭に20人が結集しました。司会は元動労西日本委員長の出口威さん。北陸ユニオン書記長の主催者あいさつの後、郵政の青年労働者が基調報告。「安倍の中東侵略戦争参戦を許すな。労働者の国際的団結で世界戦争への道を止めよう。動労千葉はストライキに決起する。北陸本線第3セクター化に反撃しよ。青年労働者を先頭に動労総連合に組織しよう」と力強く訴えました。

現場の闘いと裁判闘争で外注化を打ち破る展望を示し、このような労働組合こそ求められていると提起。動労総連合建設への展望も語りました。意見交換では新潟・星野文昭さんと連帯する会、「NAZENにいがた」から闘いの報告と要請があり、新潟市の再任用拒否解雇と闘う齋藤実さんの代理人である高島弁護士が「判決に

は破れたが人事評価制度を押しとどめる力として市当局を強制している」と報告しました。最後に国労と地域一般労組から、動労総連合を新潟に作り出す決意を述べて集会を終えました。

夫弁護士は、「JR方式と言われる労働者の団結破壊と分断攻撃が社会を覆っている。戦争と総非正規化攻撃を打ち破る環が国鉄闘争にある」と訴えました。動労千葉の田中康宏委員長は「階級的労働組合が地域を丸ごと組織する展望が生まれている。階級的労働組合の存在は社会を変革する道筋を示している」と提起しました。

2・15沖縄国鉄集会は25人の結集で開催されました。全国運動呼びかけ人の宮城盛光さんが司会を行いました。主催者あいさつを金城幸男さんが行いました。基調報告をJP労組の松本末土さんが力強く提起。その後、各職場の支援する会が報告を行いました。「動労千葉を支援する会・沖縄中部の会」の宮城盛光さんが、昨年9月の北中城議員選挙戦で宮城盛光さんが選挙戦を通して保育園の民営化反対と非正規職撤廃を訴え、新たな労働者を組織したことを報告しました。「動労千葉を支援する会・電通沖縄」は真喜志康彦さんが報告。「動労千葉を支援する基地

元教育労働者が「今がチャンス。現場で一から運動を」と発言。参加者全員が決意を新たにする集会となりました。

須藤角一委員長、広教組の倉澤憲司さんが発言しました。さらにJP労組中予支部、岡大医学部職組、広島連帯ユニオン草津病院支部、高陽第一診療所労組、徳島医療福祉労組、岡山合同労組・マスカットユニオン、広島連帯ユニオン青年部が発言しました。

最後に愛媛県職労委員長の宇都宮理さんが「戦争や原発に反対する闘いの基本が国鉄闘争にある」と集会をまとめ、広島連帯ユニオンの鈴木範雄委員長が団結カンパローを行いました。

「今こそ国鉄闘争の炎を大きく燃え上がらせよう。『動労総連合を全国に』を合言葉に全産別・全職種・全職場で闘おう」と山田書記長が「私たちは国鉄

闘争30年の偉大な地平に立っている。勝利のかぎは動労千葉や動労水戸のような労組拠点建設だ」と動労西日本の組織拡大の決意を示しました。

動労西日本の岡崎昭夫組合員、共に闘う国労の会・米子の鷲見貢さんらが動労総連合建設への決意を表明しました。後半は公務員労働者のアピール。愛媛県職労・中村圭司副委員長が公務員賃金制度の解体・人事評価を許さず、伊方原発廃炉を訴えました。自治労倉敷女性部長、広島市の非正規労働者が発言。日教組香川三観地区の

労働者の会」の水島満久さんは「安倍政権の戦争政策は基地労働者を戦争に動員する。労働組合はストで闘って戦争動員を阻止してきた」と語りました。職場報告と討論では、IJB S労組から富田晋さん、沖縄南部合同(一般)労組からは高橋書記長、沖縄大学学生自治会からは赤嶺自治会長がそれぞれ元気よく発言しました。

5・15闘争アピールの提起と確認の後、「沖縄万人の力で星野さんを取り戻す会」の和田邦子さんが、星野さんへの「獄中寒さ対策」要請決議を提案し、全員の拍手で採択。最後に、「まとめと団結がんばろう」を崎浜秀俊さんが行いました。